



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

令和2年(2020年)
4月6日
月曜日
第222号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

令和2年度 静岡県教育委員会「教育行政の基本方針」

静岡県教育委員会は、「ふじのくに『有徳の人』づくり大綱」に基づき、静岡県、日本そして世界の未来を拓く「才徳兼備」の人づくりを推進していきます。

今年度は、子供たち一人一人が未来の夢を実現できるよう、その優れた資質を引き出し、育み、伸ばす教育を進めていくため、以下の取組を社会総がかりで重点的に推進します。

I 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

1 「知性を高める学習」の充実

誰もが未来を切り拓き夢をかなえられるよう、創造性、多様性、自立性などを積極的に育む教育を推進します。



子供たちの学びに向かう力を伸ばす学習の推進

- ・限られた時間の中で、効果的に学習を進める授業改善や教育課程の工夫の促進
- ・英語によるコミュニケーション能力の育成に向けた指導体制の充実
- ・成長過程に応じた子供の読書活動の推進

新時代に対応するための先端技術の整備・活用

- ・市町や国と連携したICT環境の整備促進 (GIGAスクール構想等)
- ・AIなど先端技術を使いこなすことによる教育内容の質の向上

2 「技芸を磨く実学」の奨励

自らの才能を伸ばす実践的な学問「実学」を推進するとともに、大規模スポーツ大会の開催を契機に、子供たちのスポーツ等への興味・関心を高め、活動の充実を図ります。



勤労観・職業観や郷土愛を育む教育の充実

- ・企業・大学等との連携によるキャリア教育の充実
- ・職場見学・体験、インターンシップ等の体験活動の充実
- ・静岡県について学ぶ地域学や地域社会に貢献する取組の推進

ラグビーW杯、東京オリンピック・パラリンピックのレガシー承継

- ・レガシー承継を促進するスポーツ活動や交流活動への支援
- ・東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会陸上競技大会の開催を通じたスポーツ等への機運醸成の取組

3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

子供たち一人一人が有する能力を十分に発揮できる環境づくりに取り組みます。



特色ある学校の在り方の追求

- ・既存の考え方にとらわれない学校改革(トンガッタ学校、新学科、コアスクールなど)
- ・人口減少地域における地域とともにある学校の在り方の検討

総合的人間力と教育的スキルを併せ持つ教員の育成

- ・教員の校種間交流や大学院・民間企業・海外等への計画的派遣による視野の拡大

質の高い教育と業務改善を両立し、教職員の心身の健康を保持増進できる環境の整備

- ・勤務時間の適正な把握と外部人材の活用等による業務分担の見直し
- ・学校事務のICT化促進等による校務の効率化
- ・教職員サポートルーム等による相談体制の充実と健康管理システム化の検討
- ・部活動ガイドラインに即した部活動運営や外部人材の活用

安全・安心な教育環境の整備

- ・学校施設の計画的な維持管理・長寿命化の推進、空調設備の整備促進

県全体の幼児教育の質の向上

- ・ニーズに応じた研修の充実など市町・関係機関との連携による取組の推進

特別支援教育における「共生・共育」の推進

- ・「共生・共育」に向けた地域・学校間での交流促進
- ・人的支援の充実や施設整備の推進、教員の専門性の向上

II 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

1 グローバル人材の育成

多様性を尊重した豊かな国際感覚の醸成と、国内外で活躍する人材を育成します。



海外に触れる交流機会の拡大

- ・「ふじのくにグローバル人材育成基金」を活用した海外留学等支援
- ・オリ・パラの機会等を活用した異なる国籍や文化との交流を通じた多様性を育む教育の充実

2 イノベーションを牽引する人材の育成

子供たちの多様な個性や能力を生かして挑戦する機会の充実と、学校をイノベーションを牽引できるような場としていくための取組を進めていきます。

多様な学習機会の提供

- ・各種コンクール等への参加や研究体験等の推進
- ・教員の校種間交流や大学院・民間企業・海外等への計画的派遣による視野の拡大(再掲)
- ・専門的知識・技能を有する外部人材の活用

III 社会総がかりで取り組む教育の実現

1 地域ぐるみの教育の推進

地域に開かれた学校づくりと持続可能な教育を実現するため、学校、家庭、地域、企業等の連携・協働による社会総がかりの教育を進めます。

学校と地域との連携・協働の充実

- ・コミュニティ・スクールの拡大
- ・地域学校協働活動や「しずおか寺子屋」の推進



生涯にわたり学び続けられる環境整備

- ・新しい時代に対応した新県立中央図書館の整備
- ・地域において学びを広げる人材の養成・活用

2 誰もが夢と希望を持ち社会の担い手となる教育の推進

全ての子供たちが生き生きとした生活を送ることができるよう、一人一人に対応できる相談・支援体制を確立します。

チームとして児童生徒を支援する体制の構築

- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置拡充・資質向上
- ・スクールロイヤーの導入・活用、精神科医による指導・助言体制の導入
- ・ネット依存対策の推進、SNS相談体制の充実

外国人児童生徒等への教育の充実

- ・日本語指導など外国人児童生徒等への支援体制の充実、夜間中学の設置推進



3 「命を守る教育」の推進

子供たちが安全・安心な生活を送れるよう、関係機関と連携した取組を進めます。

子供たちの安全・安心の確保

- ・静岡県学校安全教育目標の策定・周知による学校安全計画の推進

【教育政策課】

実践NOTE(41)

世界遺産の街に生きる

地域を大切に、愛される学校を 自分たちの手でつくるために

伊豆の国市立葦山中学校

教諭 齋藤 亮

世界遺産の街 葦山

本校の位置する葦山には、「明治日本の産業革命遺産」の構成遺産である「葦山反射炉」があります。小・中学校でも、地域学習の一環として地域の偉人や反射炉について学習します。学校周辺には、葦山城址や蛭が小島といった歴史的に重要な価値を持った名跡も多く観光客もたくさん訪れます。しかし、身近過ぎてその価値やありがたみが薄れてしまいがちです。価値を再発見し、郷土に対する愛着を深め、それを自覚することにより多くの方々に地元の良さを発信したいという狙いをもって、地域学習に取り組んでいます。



地域貢献活動で、反射炉展望台にベンチを設置する生徒たち

城池学習

私たちの学校では、総合的な学習の時間を「城池学習」と呼んでいます。1年次には地域の史跡名勝を中心に地域学習を進めます。市の行っている「反射炉検定」を全員が受検し、より深い地域への理解を図っています。2年次には、職

自分たちの手で街を守る

本校では、生徒会が中心となり清掃活動や地域の方々の助けとなる活動を行っています。通学路や地域の人が集まる公共施設の清掃活動、小学校に向いて行うあいさつ運動、葦山反射炉のクリーンキャンペーンに地域の方々と連携して取り組んでいます。



反射炉を見上げ、清掃活動を行う

郷土の魅力を発信するパン祭り

国清汁をアピール

令和元年度の新たな試みとしてPTAの方々と協力し、地域で行われる「パン祖のパン祭り」で地域の銘菓や郷土料理である「国清汁」を販売しました。生徒は集客の呼び込みや販売を担当し、多くの人たちに郷土の味である国清汁を味わってもらおうことができました。また、当日は街のラジオにも出演し、自分



国清汁を販売する様子

ます。また、事前の告知で寄せられた相談を基に、畑の整地や資源回収なども行っています。さらに、部活動単位では地域の施設に向き吹奏楽部が演奏を行うなどの活動も積極的に行っています。

終わりに

学校の方だけではできないことに限りがあります。しかし、生徒が行動を起こし、保護者の協力を得て、地域の理解やアイデアを生かすことで、できることは広がり、「社会に開かれた教育課程」の実現に近づけることができると思います。自分たちの住む街をより良くしたいという願いは同じです。現在は清掃活動が多いですが、今後は地域の行事に参加したり、学校の枠を超えて活動に参加したり、新しいことにも挑戦しようとして計画を練っています。生徒が地域の活動に「自分ごと」として取り組めるよう、今後も一緒に貢献していきたいと思えます。



筆者

実践NOTE(42)

「授業振り返りシート」を用いた実践事例

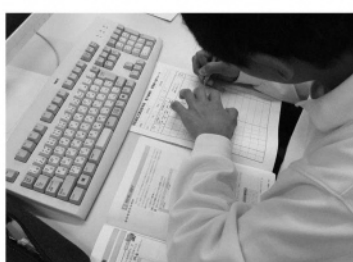
浜松城北工業高等学校

教諭 鈴木 孝志

生徒が書く内容

学校での教育において、「生徒が主体的に授業に取り組んでくれない」「授業ごとの評価をしない」「授業改善をしない」と日々思っている。多忙な業務からなかなか実践ができないと悩む教員は多いのではないだろうか。

私はこの悩みを解決し、小さな努力で大きな成果を生むツール「授業振り返りシート」を用いた実践を7年間行いました。



記入の様子



筆者(右)

実施の方法

- ① 授業前に当番に用紙を配布してもらう
- ② 授業終わりで5分前に生徒に記入してもらう
- ③ 授業終了後に、生徒の記述をチェックする。これを授業ごとに繰り返し行うだけです。

静岡県立浜松城北工業高等学校 授業振り返りシート

教科	業	科目名	情報技術基礎	担当者
HR	No	氏名		
月	日	自己評価(O-X)	自己評価(A-B-C)	授業の振り返り
4	18	O	B	A
4	23	O	A	A
4	25	O	A	B
5	8	O	B	B
5	9	O	A	A
5	14	O	A	A
5	16	O	A	B
5	21	O	X	A
5	23	O	A	A
6	6	O	A	A
6	11	O	A	A
6	13	O	X	A
4	18	O	A	A

授業振り返りシート記入例

生徒にとって良いこと
1時間の授業において生徒個人で振り返りができ、次の授業における改善点を把握することができる。

生徒との信頼関係の構築
本校で2回行っている授業アンケートの中

まとめ
「授業振り返りシート」を用いると、生徒は細かい所まで教科書を見ていたり、授業に真面目に取り組んでいることが分かります。授業改善のヒントがたくさん見つかりました。今後も継続して実践したいと思います。

生徒が、本時の授業の目標を把握できれば、生徒の自己評価を学習評価に活用することもできます。

「アンサーシート」について、授業アンケートには「是非続けてほしい」という生徒からの意見がありました。

以上のことから、「授業振り返りシート」を用いることで、生徒との信頼関係が構築でき、教師がきちんと学習方法を教えれば、成績が上がるという好循環が生まれるということが発見できました。

生徒が書く内容
生徒は、学習の定着に必要な予習や復習の実施の有無、授業における取り組み、思考の有無、授業の理解度の自己評価、授業で分かったことや疑問に思ったことを記入します。

生徒が今日の授業で「どの内容が印象に残ったのか」「どの内容が分からなかったのか」を把握することができ、授業改善につながります。

私は、授業振り返りシートによる生徒からの質問を、次の授業の最初に全員に答えるようにしています。生徒からの質問が多い場合は、「アンサーシート」を作成して、生徒に配布するようにしました。

生徒が、本時の授業の目標を把握できれば、生徒の自己評価を学習評価に活用することもできます。

教師にとって良いこと
生徒が今日の授業で「どの内容が印象に残ったのか」「どの内容が分からなかったのか」を把握することができ、授業改善につながります。

私は、授業振り返りシートによる生徒からの質問を、次の授業の最初に全員に答えるようにしています。生徒からの質問が多い場合は、「アンサーシート」を作成して、生徒に配布するようにしました。

生徒が、本時の授業の目標を把握できれば、生徒の自己評価を学習評価に活用することもできます。

「アンサーシート」について、授業アンケートには「是非続けてほしい」という生徒からの意見がありました。

以上のことから、「授業振り返りシート」を用いることで、生徒との信頼関係が構築でき、教師がきちんと学習方法を教えれば、成績が上がるという好循環が生まれるということが発見できました。

「アンサーシート」について、授業アンケートには「是非続けてほしい」という生徒からの意見がありました。

以上のことから、「授業振り返りシート」を用いることで、生徒との信頼関係が構築でき、教師がきちんと学習方法を教えれば、成績が上がるという好循環が生まれるということが発見できました。

「アンサーシート」について、授業アンケートには「是非続けてほしい」という生徒からの意見がありました。

以上のことから、「授業振り返りシート」を用いることで、生徒との信頼関係が構築でき、教師がきちんと学習方法を教えれば、成績が上がるという好循環が生まれるということが発見できました。

「アンサーシート」について、授業アンケートには「是非続けてほしい」という生徒からの意見がありました。

以上のことから、「授業振り返りシート」を用いることで、生徒との信頼関係が構築でき、教師がきちんと学習方法を教えれば、成績が上がるという好循環が生まれるということが発見できました。

あなたのまちの家庭教育支援員を活用してみませんか?

市や町で活動する「家庭教育支援員」を活用して、保護者会や懇談会、家庭教育学級などの保護者が集まる場で、子育てについての悩みや不安を話し合う「交流会型家庭教育講座」を開催してみませんか?

家庭教育支援員は、家庭教育支援の知識とスキルを学んだ地域の方です。元教員や元PTA役員、社会教育指導員など、さまざまな方が支援員となっています。主な活動として、家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用した「交流会型家庭教育講座」の企画や進行を行います。

交流会型家庭教育講座は、保護者が少人数グループで、テーマ*について自由に意見交換する「井戸端会議」のような話し合いです。自分の子育てや家庭教育を振り返り、新たな情報を得ながら、自分なりの答えを見つけます。話し合いの中で、互いに共感し認め合うことで、不安や悩みが軽減されます。保護者同士がつながり、孤立化による問題の深刻化を防ぐことにもなります。

*テーマは、生活習慣、褒め方・叱り方、親の心構え、ケータイ・スマホルールなど

経験の少ない先生方や忙しい先生方に代わり、家庭教育支援員が進行役を担うことで、話し合いがスムーズになるとともに、先生方の負担軽減につながります。

※講座開催の御相談や派遣依頼は、各市町教育委員会の生涯学習・社会教育主管課へ

静岡県/つながるネット

『安心・安全な学校を目指して』～健康体育課・島田市・南伊豆町・河津町における学校安全の取り組み～

県教育委員会では、文部科学省の委託事業である「学校安全総合支援事業」を活用し、学校種・地域の特性に応じた地域全体での学校安全推進体制の構築を支援してきました。

令和元年度は、県教育委員会、島田市、南伊豆町、河津町の各教育委員会が本事業を活用し、外部有識者の招聘や関係機関との連携など、学校安全における取組の充実や改善を図ってきました。児童生徒の安全確保には、全ての教職員が十分な知識と高い意識を備えて安全教育・安全管理に取り組まなければなりません。今回の取組事例を参考に、あなたの学校の「安全」に関する取り組みを進めていきませんか。

県教育委員会

● 危機管理マニュアルの見直し ●

浜松特別支援学校、浜松南高等学校、浜松江之島高等学校の3校をモデル校として津波対策に関する検討を行い、各校の危機管理マニュアルの充実を図りました。その中から2つの取り組みについて紹介します。

1つ目は、勤務時間外の地震発生時に、津波浸水域に立地する学校に参集することは、津波に巻き込まれるリスクが高いため、津波浸水域外の学校に参集できるよう近隣学校間で非常時における連携体制の構築を図りました。

2つ目は、さまざまな状況を想定した訓練を実施することで危機管理マニュアルの有効性について検証を行いました。

- ①時間外の部活動中や避難中の余震、避難中の行方不明者・負傷者の発生を想定した避難訓練 ②児童生徒の登校中を想定した図上訓練

島田市

● 家庭・地域につながる防災教育

島田市では災害安全の領域において、「小学高学年・中学生の防災意識の向上と自助・共助の力の育成」「小中を見通した指導内容のモデルの構築」を目指し、本事業に取り組まれました。

モデル地域内の小学校5年生は災害時の食事対策の授業、6年生は災害時の家庭におけるトイレ対策の授業を実施しました。また中学校では3年生に、避難所での寝場所作りとトイレ対策の授業を実施しました。

授業を通して小学生は、家庭における事前の備えの大切さを学びました。学んだことを生かし、自宅の備蓄品を家族と見直す児童もいました。中学生は、避難所でのさまざまな人たちの助け合いを具体的にイメージしました。「大人に頼らず、できることを自分で見つけて積極的に行動したい」「普段から地域の方と交流し、つながりを大切にす」等、共助の担い手としての意識を高めました。

また、地域の方に授業を参観していただいたことで、学校での授業内容を関連させた地域の防災訓練が実施されるなど、地域と学校の関係を深めるきっかけが生まれました。



南伊豆町

● 安全で安心な地域づくりのために

小中で連携してさまざまな活動に取り組んでいるのが南伊豆東小中学校です。この2校を拠点校とし、外部有識者や県の防災局職員の指導の下、小中合同の交通安全教室、避難訓練、防犯教育を行いました。「わたしは、いつも地域の人にあいさつしたり、会話などをしたりしているので、変な人に襲われたとき、勇気を出してかけ込みそうだと思います」「もし地震が起きたときには、地域のために、食料や水などを配る手伝いや小さい子のお世話など、自分たちにできることはたくさんあるので、中学生で協力して困っている人を助けてあげられるようになりたいと思いました」実践を通しての子どもたちの感想からは主体的に地域とつながり、地域に貢献しようとする共助の心が育成されていることが伝わってきます。

また、各校の安全教育中核教員が、それぞれの実践を報告しました。さらに外部有識者から地域・関連機関との連携の仕方や他県の実践について講話をいただいたことで、教員の安全教育への意識が向上しました。



地域防災訓練でのAR体験

河津町

● 大学と連携した安全教育に関する授業開発

河津町では、外部有識者と教育委員会が連携して、リスクマネジメント能力を高める授業開発を行いました。1枚の絵を教材として気付いたリスクについて「どうして危険か」「どうすれば安全か」「どんな声を掛けてあげるか」などを話し合い、自分の安全な生活に生かしていく内容です。町内3つの小学校と幼稚園の8学級で授業実践を行い、「もし～だったら想像することが大切」「事故に巻き込まれないように周りを見ながら歩く」など、友達と話し合いながら学んでいきました。外部有識者からは、リスクの高さに応じた行動が大切であること、「どっちが危ない?」という比較の有効性など、今後に向けた指導助言をしていただきました。

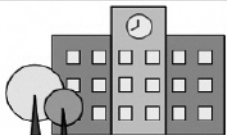


今後、モデル校での取り組みを通して得られた成果は研修会などにより各校に広めていきます。

今回、紹介した取り組みはホームページで公開しています。 [HP http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-120/tugakuro.html](http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-120/tugakuro.html)

【健康体育課】

初めて教壇に立つ任期付教員に対する研修を拡充しました



任期付教員とは

- 任期：3年間（3年後採用選考に合格すれば更新可）
- 法定研修（初任者研修など）：対象者から除外
- その他：待遇は任期のない教員とほぼ同等

◎ 育成方針

研修等の機会を設け、基礎・向上期の姿を目指して任期付教員等を育成します。

2・3年目

1年目

		全校種共通	
対象		2・3年目の任期付教員	
内容		「授業力」「生徒指導力」「教育業務遂行力」等に関する内容	
種類		希望	
受講方法		総合教育センターの希望研修等の受講、教職員支援機構等の動画の視聴	
		小中学校	高校・特支
対象		初めて教壇に立つ任期付教員及び臨時的任用教育職員（講師） ※臨時的任用教育職員（講師）対象の研修を以前に受講したものは除く	
内容		「勤務・サービス・コンプライアンス」「授業力」「生徒指導力」は必須、その他必要な内容	
種類		集合（希望） eラーニング（コンプライアンス、サービス等）	集合（悉皆：必ず受講） ※4月中旬に全員受講
受講方法		(1) eラーニングの視聴 (2) 県主催研修の受講（1日×3回） (3) 市町教委主催の研修等受講 (4) 教職員支援機構等の動画を視聴した上で校長にレポートを提出します。 ※(1)は必須です。その他に(2)～(4)の1つを必ず選択しましょう。	○eラーニングの視聴 ○県主催研修の受講（高校1日） （特支1日×2回） ※特支2回目は全ての任期付教員が対象です。

eラーニングは、コンプライアンスやサービス等に関する内容です。必ず4月中旬に視聴しましょう。

初めて教壇に立つ任期付教員等や経験のある任期付教員への研修を支援するためにeラーニングや遠隔受講システム等の構築を進めていきます。



eラーニング（コンプライアンス、サービス）

静岡県教育委員会HP>教職員>資質向上>eラーニングで視聴することができます。



その他 おすすめサイト

総合教育センターHP>教職員データベース>忙しい先生のためのお役立ちリンク集

こちらからは、教職員支援機構や特別支援教育総合研究所のページに移動することができます。先生方のお役に立つ様々な情報が掲載されています。



【教育厚生課】

【教育政策課】



～高等学校での必修化まであと2年～ 「情報I」の準備は進んでいますか?

【総合支援部高等学校支援課】

2022年度から始まる必修科目「情報I」。教材研究は進んでいますか?この科目では、プログラミング、モデル化とシミュレーション、ネットワークとデータベースの基礎といった基本的な情報技術と情報を扱う方法、コンテンツの制作・発信の基礎となる情報デザインなどを扱います。

情報教育の専門家である高橋等先生と一緒に教材に対する理解と指導法を学んでみませんか?先着28人。申込みはお早めに!

「情報I」の内容

①情報社会の問題解決

情報セキュリティって何?
サイバー犯罪はどう防ぐの?

②コミュニケーションと情報デザイン

情報のデジタル化って何?
RGBって何色?

③コンピュータとプログラミング

どんなプログラム言語があるの?
数式モデルって何?

④情報通信ネットワークとデータの活用

有線LANと無線LANの違いは?
プロトコルって何?

*研修内容はこのうち、「③コンピュータとプログラミング」になります。

希望研修

高等学校共通教科情報「情報I」基礎研修

開催日	7/29(水)	対象	高校教員(情報) 特別支援学校教員(情報)	定員	28人
-----	---------	----	--------------------------	----	-----

目標	・「情報」の指導内容や指導方法について意欲的に理解しようとする。 ・「アルゴリズムとプログラミング」について理解する。 ・「モデル化とシミュレーション」について理解する。
内容	○講義 「新学習指導要領「情報I」について」 ○講義・演習 「アルゴリズムとプログラミング」「モデル化とシミュレーション」 ○講師 静岡産業大学情報学部教授 高橋 等 氏

研修の詳細や、申込方法、受講に際しての参考事項については、研修ガイドブックをご覧ください。センターホームページからも、見ることができます。

静岡県総合教育センター

検索



私の学校紹介します

Eジャーナルでは、皆さまの学校についての取り組みを募集しています。

ぜひEジャーナルを学校のPRにご活用ください! 問 教育政策課 TEL 054(221)3674

松崎幼稚園

自然の豊かさと人のあたたかさに包まれて育つ
松幼の子どもたち ~つながりを大切に~

松崎町は四季を通じて温暖であり、なまこ壁や伝統的な文化財、棚田などの素晴らしい景観が残る、人のぬくもりにあふれた町です。町内には、幼・小・中・高・特別支援学校高等部が1校ずつあり、松崎の子どもたちを町全体で育てています。松崎幼稚園は重要文化財「岩科学校」の横にあり、その木造園舎に、36人が元気に通園しています。地域の豊かな自然の中で、異年齢の友達や地域の方とたくさん関わり、思いやりと優しい心を持つ子どもに育ててほしいと願っています。

地域との関わり

春には、レンゲ畑や花畑、棚田で遊び、おたまじゃくしやかえる、ざりがに捕りをします。じゃがいも掘りをして地域の方から皮むきと包丁の使い方を教わりながらカレーを作りました。夏には、プールだけでなく川や海で水遊びをします。石の下の生き物を見つけたら砂で遊んだりしました。秋には、バッタ捕りや木の実拾い、柿や栗拾いを楽しみます。さつまいもを農協の方や地域の方と収穫し、焼芋にして食べました。冬には、地域にできた4つのさいの神の見学に行きます。家から集めたおかざりで園でもさいの神作りをしました。地域の方に教わりながらだんご作りもして、どんど焼きの火で焼いて食べました。

子どもたちは、地域との関わりの中から、伝統を大事にする心や命あるものへの優しさを学び、のびのびと育っています。また、これらの体験は園の中だけにとどまらず、家族と一緒に同じ体験をするといった広がりにつながっています。



人との関わり

異校種間の連携・交流では、年長さんが小学校に出掛け、運動会や水泳練習へ参加したりリレー会やマラソン大会の応援をしたりしました。一日入学では、小学校での学習の様子を再現したりクイズにしたりしてくれたことで、年長児は、「学校って楽しい」「早く小学生になりたい」と憧れを持つことができました。また、今年度は、中学校の体育館に園児全員が招待されました。中学生が考えた楽しい遊びに子どもたちは大喜びでした。中学生の合唱を聴いたときには、感動して涙を流す園児もいました。さらに、高校にも行きました。グラウンドで木の実拾いをしていると、高校の先生が声を掛けてくれ、木の実がたくさん落ちていたところを教えてくださいました。園に戻ってきてからドングリを使った楽器やゲーム屋さんを開きました。保育実習に来てくれた高校生も園児に大人気でした。高齢者施設への訪問では、おじいさんやおばあさんの前で歌ったり踊ったりしました。

小学校や中学生との交流から戻ってきた子どもたちは、小中で経験した遊びを参考に、自分たちのゲーム屋さんがもっと楽しくなるように工夫をしていました。また、幅広い年齢の人たちと関わることで、「自分は大事にされている」「愛されている」「人と話すことは楽しいな」ということを感じているように思いました。



私たち保育者は、小学校の研修に参加したり、幼児教育アドバイザーを招いて、週日案の書き方や環境・支援の仕方などの研修を深めたりしています。保育の質を高める努力が保育者の意識や保育内容の変容となり、子どもの主体的な姿を引き出すことにつながっていると日々実感しています。町の素晴らしい環境を日頃の保育に生かし、地域や人との関わりを通して子どもたちが町の良さを確認し、松崎町に暮らして良かったと思えるような保育を展開し、町の子どもたちを大事に育てていきたいです。 園長 土屋恵子

令和2年度 静岡県立美術館 展覧会(企画展)のお知らせ

皆さんに親しんでいただける見どころのある展覧会(企画展)を多数用意しています。豊かな教養と感性を身に付けるため、ぜひ、静岡県立美術館にお越しください。

- 開館時間 10:00~17:30(展示室の入室は17:00まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館。ただし、9月23日(水)は休館。5月7日(木)、8月11日(火)、11月2日(月)は開館。)
- 観覧料 展覧会(企画展)ごとに異なります。みんなのミュージアム、ムーミン展は中学生以下無料、その他の展覧会は大学生以下無料、学校団体引率者は無料(要申請書)
- 交通案内 JR「草薙駅」からバス約6分、静岡鉄道「県立美術館前駅」から徒歩15分
- 駐車場 無料 約400台収容 大型バス(8台)
- 問い合わせ先 静岡県立美術館総務課 TEL 054-263-5755
団体でお越しの際は事前に電話でご連絡ください。

□展覧会(企画展)開催日程

展覧会(企画展)名	期間
開校100年 きたれ、パウハウス	4月11日(土)~5月31日(日)
美の競演-静岡県美名品展	6月13日(土)~6月28日(日)
みんなのミュージアム	7月11日(土)~9月6日(日)
富野由悠季の世界展	9月19日(土)~11月8日(日)
パラレル・ヒストリーズ	11月21日(土)~令和3年1月11日(月・祝)
ムーミン展	令和3年1月23日(土)~3月14日(日)



伊藤若冲<樹花鳥獣図屏風>(右隻)
「美の競演-静岡県美名品展」で展示されます。

静岡県立美術館 検索

広告

ま・あ・る

静岡市子どもクリエイティブタウン

小学校 中学校 団体利用受付中!

体験費 無料



キャリア教育で活用

「生活科」「社会科」
「総合的な学習の時間」として

特別支援学校・学級にも

乗り物探検・社会科見学などで

ま・あ・るは、仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済のしくみや地域産業について学ぶ施設です

お問い合わせ:【電話】054-367-4320 【メール】maaru@maaru-ct.jp
アクセス: JR 東海道本線 清水駅西口(江尻口) 徒歩1分

団体利用についての詳細はこちら
<https://maaru-ct.jp/dantai>

